

<b>13031 言語教育Ⅱ</b> Language Education II		1年次～ 後期 2単位	
担当者	猿田 知之	履修可能学科	E Pe Pc C W F
		関連資格	教職・日本語(P e) 日本語(E・P c・C)
サブタイトル	ことばを実践する		
授業内容 ・ ねらい	努力目標:母語としての日本語をなにげなく使用しているが、はたして正確に使用し、理解しているのだろうか。言語使用の実践を通して、正確な日本語を身につける。		
授業計画	1回. 語の意味を正確に理解・使用しているか。 9回. 社会生活における言語の重要性。 2回. 語の意味を知るには辞書か。辞書の性格とは? 10回. 現代社会と敬語。 3回. 言葉の質問をうけた時の答え方。 11回. 対照言語学からみた日本敬語。 4回. 曖昧な文は、どうしてうまれるか。 12回. 尊敬語の使い方とその実践。 5回. 日常生活と慣用句表現。 13回. 謙譲語の使い方とその実践。 6回. 誤解されている慣用句。 14回. 丁寧語の使い方とその実践。 7回. 歴史背景の在る慣用句。 15回. 実践としての言語学は、言語教育に反映される。 8回. 慣用句表現に習熟する。		
教科書 参考書	参) 『新版日本語教育事典』 (大修館書店)		
評価方法	試験の成績を主とし、出席率を加味する。		
事前準備学習 履修条件等	事前に次回の講義内容を告げ、専門用語などを辞典などで調べてくることを指示する。		